

しし  
 くく  
 てて  
 う  
 れ  
 し  
 い。



写真提供：アルバム委員会・ロボティクス学科 大嶋教授・教務システム開発プロジェクト 児玉和雄

CONTENTS

第41回宴祭  
 マスコミも注目するロボティクス学科  
 特色GPプロジェクト  
 学生の活躍 クラブ活動報告  
 きょうだい・親子でDIT  
 林 正広さん(兄)・一広くん(弟)

トコトン先生 建築学科教授 佐藤達生  
 新任教員紹介  
 開かれた大学  
 就職トピックス  
 やるじゃんトピックス  
 Cafe@dit



～愛のドッカン大作戦!!～

# 楽しくて、優しくて、うれしい DITの大学祭

## 第41回 宴祭スケジュール

4月 1日(土)～5月24日(水) 大同ドライブラリー

5月21日(日) 美流輝移仮装行列



5月22日(月) DAIDOラゴンボールZ

5月23日(火) ボウリング大会



5月24日(水) The パズレスト

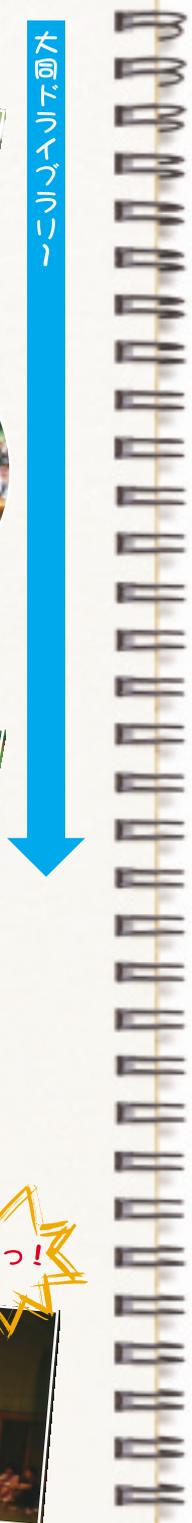
5月25日(木) 前夜祭



5月26日(金) フットサル大会・バドミントン大会



大同ドライブラリー



5月27日(土)・28日(日)、当日のライブ天気予報でも「雨雨雨...」しかし、学生・関係者の情熱が奇跡を起こし、ナント両日共に「曇り/晴れ」のなか、開催することができました。

「本祭」では、焼きそば・お好み焼き・わたがし・アイスクリーム等々のBooth(屋台)およそ40店、また無料ヘアカット・整体・占い・わらべ村(ちびっ子村)、そして工業大学ならではの研究展を出展。ステージはというと、ゲーム・バンドライブ・チアリーディング・よさこい・空手等々、次から次へと会場を盛り上げました。

また「後夜祭」では、27段(およそ5m)のキャンプファイヤーを囲んで、プロコンサート・ダンスそしてドッカンと花火っ!

参加者のみなさんには、大同工業大学の若者たちのパワーを実感

していただいた「宴祭」となりました。

大学祭実行委員会のメンバーは、この宴祭をみんなで協力し合って作り上げる、華やかで勢いのある「花火」に例えて考え、テーマを決めました。

仮装行列から始まり中間企画・前夜祭・本祭そして後夜祭と今回の宴祭・8日間は、華やかで勢いも十二分にあったと思います。また、宴祭に参加した8歳のちびっ子からは「楽しくて、優しくて、うれしい大学」って感想が聞けましたよ!

やったね!大学祭実行委員会そして協力・関係者の皆さま、本当にお疲れさまでした。



5月27日(土) 本祭



5月28日(日) 本祭・後夜祭



# マスコミも注目する ロボティクス学科



司令塔の渡辺くん(03B)

TVクルーの  
撮影風景

キャプテンの高橋くん(05MM)

## ロボティクス学科

NHK「ほっとイブニング」が本学ロボティクス学科を生放送で紹介!

4月13日(木)、NHK「ほっとイブニング」が東海地方初のロボット専科として、本学のロボティクス学科を生放送で紹介しました。

2足歩行ロボット2体のデモンストレーションから始まり、自分でボールを認識してシュートするサッカーロボットが紹介されました。生放送ならではのトラブルもありましたが、大学生らしい気持ちの良い映像を配信することができました。



講義で使う2足歩行ロボット

大岡工業大学 副学長  
西堀賢司先生

## 8コマ劇場



CBC報道番組「イッポウ」に本学サッカーロボットが出演!

5月30日(火)、CBCの報道番組「イッポウ」が、FIFAワールドカップでサッカーが盛り上がっているなか、こんな形でのサッカーも熱い!と本学ロボティクス学科のサッカーロボットを紹介しました!

番組内では「日本vsオーストラリア」を予想しようとの企画から2対2のサッカーロボットで仮想マッチin大同工業大学を行いました。結果は見事、中村俊輔ロボのシュートが決まり、日本勝利でした...放送では...。しかし実は収録での日本勝利は2試合目の結果で、1試合目はオーストラリアが勝利していたのです。もちろん全カットですけど...

そんなこんなでこの収録は実際、5時間もかかりましたが、ロボットの動きに参加者みんなが目を輝かせ、楽しみながら取り組むことができました。まさに本学ロボティクス学科が目指す「ものづくりの楽しさをロボットを通して実感しながら学ぶ」というスタイルをこの番組から「イッポウ(一報)」として届けることができた放送となりました。

## 教員の 新刊書出版



情報学科メディアデザイン専攻  
茂吉雅典 講師

### 『キューポラのある街よ いつまでも』

「生きていく力」を与えてくれる作品として、長年読み継がれる『キューポラのある街』。その作者・早船ちよさんの91年間の人生を、作家の吉田足日、女優の吉永小百合ら、親交のあった多くの文学関係者、俳優が綴る。その一人に2005年11月に『あしたよなあ』を出版した、本学・茂吉雅典先生も参加。ちよさんの息子である出版編集者の早船くみおさんとのエピソード等を執筆している。

早船ちよとなかまたち 著  
出版者 けやき書房  
発行日 2006年6月8日  
定 価 本体3,200円+税



# 特色

特色ある大学教育支援プログラム

# GP

## 特色GPプロジェクト、 始まりました

### 授業開発センター

大同工業大学は文部科学省の17年度「特色ある大学教育支援プログラム」(通称「特色GP」)に応募し、採択されました。「特色GP(good practice)」とは、特色があつても良い取組という意味です。採択課題は「全教員を対象にした公開研究授業の組織化」です。「教育重視型大学への自覚的転換」という本学の基本方針を具体化する取組が認められたといえます。その結果、17年度から4年間の新たな授業改革プロジェクトに対して、総額でおおよそ6000万円の補助金をいただくこととなりました。

本学は、平成11年度から教育体制の抜本改革に着手しました。教育目標・人材養成目標を明確にし、学生に適合する標準教育プログラムの制定とそれに基づく教育課程の再編成を行いました。同時に教員の教育資質開発[=FD(faculty development)]と授業改善とを恒常的に図るべく、授業開発センターを平成13年4月に設立しました。授業開発センターの中心的活動のひとつは、設立と同時に開始した研究授業と授業研究会の運営です。全教員の授業を学内へ公開し研究の対象とすることによって、新教育システムの効果を担保し、最終的に学生の学力レベルアップを目指しました。研究授業と授業研究会は今でこそ、いくつかの大学が取り入れつつある施策ですが、この点では本学はトップランナーです。これは現在まで続けられていますが、不断で先駆的な取組が高く評価されての、特色GP採択という結果でした。

文部科学省の特色GP支援をもとに、本学が選択した具体的実施策は「研究授業と授業研究会の電子ライブラリ化とその公開」です。公開研究授業と授業研究会を電子ライブラリ化し学内ネットワーク上に公開することによって、大同工業大学における教員の教育資質開発と授業改善の方策を新たな段階に導くことが目的です。

全教員の授業を対象にした公開研究授業とその授業研究会の実施は、平成17年度までに専任教員の9割以上をカバーして大きな効果を上げていますが、18年度以降は非常勤教員の授業も対象にして新たな公開のあり方を展開しています。重要なのは、時間的・空間的に参加者が限定されてしまうこれまでの限界を突破し、より開かれた効果的な公開研究授業と授業研究会の形態を工夫し追加することであると考えました。

特色GPによる補助事業として、平成17年度後期には装置の導入・調整、専門技術者の迎え入れ、および予備的試行を行いました。18年4月より公開研究授業を撮影し、その映像を各教員の研究室にライブ配信しています。またオンデマンドで授業風景にアクセスできるようにもなりました。授業研究会においては、配信された研究対象の授業映像が随時参照され、より高密度な授業批評が可能になりました。一方、FD活動において最も重要な授業研究会での討論の様子が映像配信されることによって、その真剣な討議プロセス、議論される授業改善テーマ、出席者の様々な意見等を生々しい形で学内教員に提供することができます。これらの試みによる大学全体のFD効果は大きいものになりつつあります。研究授業が自身の授業と時間的に重なった教員によるビデオ視聴しての研究会参加のケースも増えてきており、授業研究会の活性化をもたらしているという現況です。専門技術者の努力により、授業撮影後1時間以内にアップロードができるようになりました。

本補助事業、「公開研究授業および授業研究会の電子ライブラリ化とその公開」の目的は、公開研究授業および授業研究会を映像化し、全学にライブまたはオンデマンドで配信することによって新たな段階のFD活動を拓くことです。本学の教育理念である「教育重視型大学」の姿勢を全学に浸透させることにも繋がると確信します。



研究授業 ▶



授業研究会

# クラブ活動報告

DIT・クラブ学生はチャレンジし続ける！  
我々は君たちを応援し続けます。がんばれ！

大学生活において、授業・研究といった正課活動はもちろんであるが、課外活動もまた「学びの場」であると考えます。

積極的に自らクラブ活動に参加し、チャレンジし続けている学生の活躍をここに紹介します。



## 硬式テニス部

- 第10回東海学生チャレンジテニストーナメント大会予選(3月1日～3月5日・各大学)出場

## 自動車部

- JMRC中部東海シリーズ第2戦(3月12日・幸田サーキットYRP桐山)出場
- JMRC中部ジムカーナ東海シリーズ第3戦(4月9日・キョウセイドライバーズランド)21位
- 2006DITダートトライアル全中部学生ダートトライアル(5月7日・山室山ダートコース)団体4位



## スキー部

- 第27回東海学生基礎スキー選手権大会(2月26日～3月4日・グランベルミヤツ)男子個人2位(04B 梶 彰克くん)新人戦7位(05A 石田 亘くん)
- 第76回全関西学生スキー選手権大会(3月7日～3月14日・野沢温泉スキー場)出場
- 第3回木島平西日本スキー選手権(3月15日～3月19日・木島平スキー場)出場
- 第33回全国学生岩岳スキー大会(3月16日～3月24日・岩岳スキー場)アルペン競技の部滑降1位 大回転7位 回転8位(04B 梶 彰克くん)



## 陸上競技部

- 東海学生春季大会(4月15日・知多運動公園陸上競技場)3000mSC 9位 10分04秒70(03J 道家 崇文くん)



## ハンドボール部

- 東海学生ハンドボール春季リーグ戦(4月2日～5月7日・大同工業大学 体育館他)4勝3敗 ベストセブン(05M 森光 勇太くん)
- 第2回男子ユースU-19アジア選手権大会(イラン)出場(M06 濱田 竜土くん)



## バドミントン部

- 第54回東海学生新人バドミントン選手権大会(4月17日～4月21日・天白スポーツセンター)シングルス3回戦敗退 ダブル2回戦敗退
- 第103回東海大学バドミントン選手権大会(4月3日～4月8日・名東スポーツセンター)リーグ戦1勝3敗4位 4部残留



## バレーボール部

- 全日本バレーボール大学男子選手権大会(12月4日～12月8日・東京武道館等)出場
- 東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会(4月15日～・AGUスポーツセンター)5勝5敗(6位)

## レーシングカート部

- APG CUP 第1戦(3月18日～3月19日・オートパラダイス御殿場)出場
- 2006APG CUP 第2戦(4月29日～4月30日・オートパラダイス御殿場)タイムトライアル7位 決勝5位(05M 中嶋 和人くん)

## E・D・P・S部

- コミックマーケット69(12月28日～12月29日・東京ビックサイト)参加

## 音楽研究部

- ライブ(2月4日・久屋大通公園もちの木広場/2月28日・大学ミーティングルーム)

## 吹奏楽団

- 第20回定期演奏会(3月5日・愛知県勤労会館)

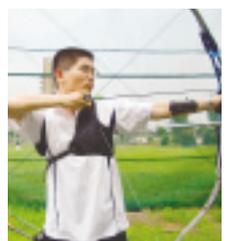


## 漫画研究部

- コミックトレジャー(1月9日・インテックス大阪)参加
- コミックライブin名古屋(1月22日・名古屋国際展示場)参加
- リすこみ(2月13日・東京都立産業貿易センター)参加
- まきますか?まきませんか?3(3月4日～3月5日・東京都立産業貿易センター)参加
- コミックライブin名古屋(3月26日・名古屋国際展示場)参加
- コミックキャッスル春(4月1日～4月2日・池袋サンシャインシティ)参加

## アーチェリー同好会

- 第26回中日オープン・インドア・アーチェリー大会(1月8日・トヨタスポーツセンター)出場
- 東海学生アーチェリー王座出場校決定戦(3月19日・愛知大学)出場



## 水泳同好会

- 中部学生春季室内選手権大会(3月5日・愛知学院大学スポーツセンター)出場

## テーブルゲーム研究同好会

- コミックマーケット69(12月29日～12月30日・有明東京国際展示場)参加
- コンベンション(2月18日・熱田青年の家)参加

## ロボット研究同好会

- 第9回ROBO-ONE(3月17日～3月20日・パナソニックセンター)出場

## 模型研究会

- Zi-1グランプリ2006(1月26日～・ホビージャパン編集部)参加

## ダンス同好研究会

- 学年別対抗戦(1月22日・名古屋市公会堂)出場
- 対抗戦(3月26日・愛知大学)出場
- 中部モダン戦(4月23日・名古屋市公会堂)出場
- 全日本選抜学生競技ダンス大学(7月2日・なみはやサブアリーナ)



# きょうだい・親子で DIT★

先日、キャンパスを歩いていたら、前方に懐かしい顔(A)を見かけました。

- I「おーっ、久しぶりやな!何してんの?」  
 A「.....」  
 I「あれ、まだ卒業してなかったっけ?」  
 A「.....」  
 I「へいへい、留年か!?」  
 A「僕.....、弟です。」

なんだか、ジーンとうれしくなった「I」はジュース(60円の...)をご馳走してあげました。

このネタをみんなに話してみると、実はこの組み合わせ、結構多いようで、簡単に7組が挙がってきました。これは調査したら、いっぱいいるに違いない!もしかしたら親子でDITもと期待が膨らんできました。ということで、今回より、「きょうだい・親子でDIT」にスポットを当てていきます。

## 林兄弟レポート

### なぜDITを選んだの?

兄 将来自動車関連の仕事に就きたかった。より実践的な大学に進学したかったから。

弟 就職率が高く、自分がやりたいことが見つけれそう!と思ひ。

### DIT、弟に勧めた? 兄に勧められた?

兄 勧めた。「交通の便がものすごく良い」と。

弟 勧められた。「交通の便が良い」と。

### DITに決まり、弟の反応は? 兄の反応は?

兄 その時はあまり興味を示さなかった...が、いざ本人が「大同工業大学を受験するぞ!」という時には(都合よく?!)いろいろ大学生活について聞かれた。

弟 「本当に行くのか?!」と。ちょっとびっくりしていた。

### 好きな学食メニューは ですか。【その理由】

兄 「ゴビーホール1階喫茶のカツ丼・から揚げ・カレー。」

【安くて美味しい!機会があれば今でも食べに行きたいぐらいです。】

弟 「ゴビー・ホール1階喫茶のから揚げ」

【安くて、ボリュームがあって美味しい!】

### DITのお気に入りスポット

兄 「丸善前の休憩所」。在学時代は、よくあの場所で話して過ごしたものです。

弟 「アルバム委員会室」。居心地が良く、気がつくまで遅くまでいる。

### DITのココが一番いいところ!

兄 大学の雰囲気のがんびりしているところ。

弟 A棟前の芝生のとこ。気分が落ち着く。

### DITのココは変???

兄 なぜか食堂が外から丸見え。

弟 どうして滝春校舎、白水校舎別れているの...??



99M 林 正広さん(兄)



03M 林 一広くん(弟)

### 先生感謝しています!【その理由】

兄 「池田先生(卒研ゼミの先生)、感謝しています!」

【卒業研究では、締め切りギリギリまで面倒を見てくれてありがとうございました!】

弟 「伊藤さん(エクステンションセンターの職員)、感謝しています!」

【アルバム委員会が撮影してきた写真を、大学のホームページやDAIDO CAMPUSなどへ積極的に採用し、掲載してくれるため、アルバム委員会魂を熱くしてくれています!】

### 大学生活で一番の思い出は?(卒業生/兄) 将来の夢は?(在学生/弟)

兄 なんとと言っても「大学祭」。参加者という立場ではなく、アルバム委員として関わりましたが、辛い事&楽しかった事など今となってはすべてが良い思い出です。卒業してようやく参加者として参加できる!と思っていたのですが...なぜか今も大学祭シーズンになると関係者として召集の連絡が...

弟 どんなどきでも、チャレンジを忘れないエンジニアになりたいです。

### 最後に一言、ご自由に...

兄 大学としてはかなり特色の強い校風を持っているので、大学生活を楽しく送れると思います。また学生もかなり個性が強いので(たまたま周りが個性的だったのかも?)いろいろな考え方や知識に出会える素敵な大学です!

弟 大学生活の4年間は、自分を見つめなおして、何がやりたいのかを探せるときです。

## 元気の卒業生 ⑫

## 「挑戦しないと何も始まらない、スタート地点にすら立っていないのだ」

ハンドボール部の第1期生・仲井友崇さん(00C)がドイツ・プロリーグでの1年間を報告。



丁度1年前の本誌No.53で紹介した仲井さんがドイツ・1部プロリーグ(ブンデスリーグ)での1年間を報告に来学してくれた。

6月3日(土)のリーグ戦最終戦(全34試合)を終え、チーム成績は14/18位、個人成績は1年間通して1軍に所属はしていたが、1試合の出場に終わった。しかしその1試合の経験は彼をやみつきにした。1万人の観客で超満員のホールで経験した緊張感そして歓声とブーイング等々、全てがヤバかった

と彼は興奮する。

そんな彼に無謀とも思えるドイツへのチャレンジのきっかけを聞いてみた。

卒業後はハンドボールでメシを食いたいと考えていた彼は体育教師を目指し、中京女子大学に科目等履修生として2年間通っていた。日本の実業団は大学時代のスーパースターしか入団できないという現実が重く彼に押し掛かっていた時期だ。そんな時にドイツでのプレー経験があった中京女子大ハンドボール部の先生から海外の情報を初めて耳にした。ドイツのハンドボールリーグは世界一の力があるとわかったそんな時に、愛知女子選抜とドイツ女子チームとの交流戦があるとの情報が入った。彼は反射的に会場に向かった。体育館でふと日本チームのコーチを見るとなんと彼の知合い(友達)であった。

試合終了後、ドイツチームの監督を紹介してほしいと知合いに頼み込み、コンタクト成功!ハンドボールに言葉の壁は無いのか、すぐに

意気投合!ドイツでのチーム探しを手伝ってやるから、ホームステイに來いと誘われた。彼は迷うことなく、OK!こうして彼のチャレンジがスタートした。

ドイツには10部以上リーグがあるなか、先ず9部の練習に参加。彼はこう言う「自分はエージェントに舐められていた。」練習で実力の差を見つけた結果、次は5部のチームを紹介された。そこで1部(ブンデス)リーグに所属する「HSG-デュッセルドルフ」の2軍監督(1軍コーチ)に認められる。

彼はその2軍チーム(5部)において15分間で6得点という強烈なデビューを飾る。その後の5試合に大活躍し優勝に貢献した彼の實力は認められ、見事1部(ブンデス)リーグに参加することとなった。

今思うとドイツでの経験は、何をしても基本的にはひとり...ドイツ語もしゃべれないし、全てに困ったが、根からの「プラス思考」「失敗から学ぶ精神」そして大学ハンドボール部で学んだひとつである「開き直りの精神(どれだけシンドイ練習メニューでもとりあえず倒れるまでやっちゃえ、チャレンジチャレンジ!)」で踏ん張ったと彼は言う。

後輩たちへのメッセージはと聞くと「挑戦しないと何も始まらない、スタート地点にすら立っていないのだよ」と言った彼の163cm(リーグ2位の小ささ)の身体が大きく輝いて見えた。





研究室でのお別れ会



京都の清水寺にて

## 「ジェシーを迎えて」建築学科教授 佐藤達生

4月6日から5月13日まで、オレゴン大学からの留学生ジェシー・オルソン嬢の研修のお世話をした。彼女を迎えるにあたって考えたことは二つある。一つは、彼女が勉学を進める上で望むものは可能な限り提供すること。もう一つは、本学の学生との交流を最大限に図ることであった。結果からいうと、この二つは大変うまくいった。とくに後者に関しては、予想以上の成果があったと思っている。もちろんこれは、学生自身の力とジェシー自身の明朗な性格が合わさってできたことであるが、指導教員としての方針というものも、いちおう立てたつもりである。

その方針とは、彼女に対してはすべて卒業生の一人として研究室ぐるみで対応するというものである。たとえば特別講義などの内容は、彼女のためだけでなく研究室の全員をも対象とするものとした。彼女の日常生活や観光案内に関しても私が前面に出るのではなく、できるだけ学生による支援を期待した。実際、学生食堂の案内から、通学切符の買い方、電車の乗り方(初めての外国人に、金山から大同町まで間違いなくたどり着けるよう英語で正しく路線を教えるのは、なかなか容易ではないと思われる)、買い物の仕方、市内・近郊の名所見物、伝統芸能の見学にいたるまで、学生諸君が実によく面倒をみてくれた。彼女は日本語が全く話せず、来日前にかなりの不安をもっており、私は私で本学学生の英語力に不安を感じていたが、そのような不安は、彼女にとっても私にとっても全くの杞憂であることがすぐに明らかになった。来学初日にさっそく卓球などをして緊張をほぐし、友好を図るこ

となど、とても私の考えのおよばないことであった。問題は英語力ではなく(もちろんゼロでは大変苦労するだろうが)、むしろコミュニケーション力であることを、あらためて実感した。コミュニケーションには、(とくに外国人の場合相手は大きな不安をもっているわけだから)相手に対する細やかな気遣いが不可欠であるが、彼らはそのような思いやりの心を十分にもちあわせていたようである。学生のそのような好意を感じてか、ジェシー自身もゼミ室によく居つき、夜遅くまで机に向かっていることも多かったと聞いている。

彼女は日本の古建築と現代建築に大きな関心をもっていたので、建築の見学会を研究室ぐるみでおこなった。この見学旅行が、ジェシーと学生との距離をいっそう縮めたようである。4月14日に伊勢神宮、5月1・2日には妻籠と馬籠の宿場町および岐阜県下の現代建築(現代建築の見学に当たっては笠嶋教授に大変お世話になった)、5月7・8・9日には奈良・京都・大阪の古建築と現代建築を見学した。伊勢神宮を除きすべて自家用車3台に分乗しての旅行であった。関西方面への見学旅行には東大文学部の 姐御 さゆりさんも加わって、研究室としては大いに知的レベルが上がり、会話の内容も一段と楽しくなったものである。東大生をも巻き込んで、非常に楽しくエキサイティングな見学旅行をすることができたのは、ジェシーも含めて彼ら自身のコミュニケーション力のおかげであると思っている。もちろん見学にあたっては資料を準備し、日本建築の原理と歴史、造形上の特質についての説明を(英語と日本語で)きちんとおこなったので、それ

なりの実益(?)もあったと考えている。

研究室でのお別れ会では、ジェシーから学生一人一人に一輪の花が手渡され、学生のほうからは全員の顔写真と手紙をまとめた記念アルバム、全員の署名の入った扇などがジェシーにプレゼントされた。彼女が感激したのはいうまでもない。その夜も遅くまで、研究室でわいわい騒いでいたそうである。空港での見送りのときには、しくしく泣くしぐさをして、私たちとの別れを惜しんでくれた。

名古屋を発った後、ジェシーから、本学の「学生は最高にすばらしい」との便りももらい、アメリカ帰国後は、「会う人会う人全員にDITがいかにもすばらしかったかを話しまくっている」との感謝の便りも受け取っている。学生はもちろん大喜びである。

彼らが単なる交流の域を越えて強い友情の絆で結ばれたことは、何よりもうれしいことである。余談だが、学生の何人かは、卒業旅行でジェシーに会いにオレゴン大学を訪問する計画をたてている。真の交流は、むしろこれからのかもしれない。



浴衣姿の女子学生とジェシー  
木曾駒セミナー・ハウスにて

## 「ジェシーの思い出」03A080 長谷川 武史

桜が満開の頃、研究室に一人の仲間が増えました。名前はジェシー、浴衣の似合うアメリカ人の女の子です。

最初の思い出は、二人で行った犬山城です。天守も、そこからの眺めも、一緒に食べたところでも、たいへんすばらしいといって喜んでくれました。

二回のゼミ旅行も大切な思い出です。最初の旅行は妻籠・馬籠で、一緒に日本の文化に触れたことはとても貴重な経験でしたが、大学のセミナーハウスで一段と親しくなれたことは僕らにとってはもっと大きな出来事でした。僕はブラジルの民族楽器を、他の仲間はギターを弾き、皆でカラオケを歌い、お酒を飲んだり

と、数え切れない笑顔がありました。この日の夜、庭で花火をして遊びました。そのとき研究室の仲間が用意してくれた浴衣を着たジェシーは、とてもしつやかに見えました。

二回目のゼミ旅行では、奈良・京都・大阪へ行きました。日本建築の屋根や庭が好きなジェシーは、古建築と現代建築の両方を見学することができ、感動していました。しかし何といても楽しかったのは夜です。チームに分かれて卓球をしたり、ひとつ屋根の下で恋の話をしたりして大いに盛り上がりました。ここに書ききれないほどの思い出があります。

このほかジェシーから貰ったものはたくさんあります。彼女の大好きなチョコと、一輪の

花と、そして少しの英語力。ゼミの仲間をすぐ仲良くしてくれたのも彼女が来てくれたおかげです。

仲良くなっただけに別れが悲しく、大学の留学プログラムが終了し、空港で彼女を見送ったときは寂しかったです。ただ、奇跡は起こるもので、彼女が休暇をとっていた沖縄からアメリカへ帰る前日に、名古屋で再会することができました。だからこれから先も、僕は元気なジェシーに会えると信じています。

このようなすばらしい機会を与えてくれた佐藤先生と大学に感謝します。

# 新任教員紹介



機械工学科 先端機械工学専攻  
小林 正典 教授

本年4月より、大同工大・機械工学科にお世話になっています。それまでは、工学と医学の2つの学部、大学院を出た後、医療工学の研究と実際の臨床とを交互に繰り返し、本学就任前は厚生労働省下にて医療機器の審査・認可の

医療行政を担当しておりました。

私が主宰する生体医療・福祉工学の分野は、近年多くの大学や企業が研究室を立ち上げるようになり、医工学連携による新産業技術の創成や介護支援事業の発展などの名目で活発な動きが見られます。しかし同時にその傍には、財政破綻による医療保険体制の崩壊、医療不信や空洞化、高齢化社会対策など解決すべき課題も山積んでいます。生体医療・福祉工学はまだまだ発展途上の学問で、将来これらの課題を克服してくれるであろうと信じています。大学の教育・研究では、この社会的使命や意義を十分に認識して進めていこうと考えています。

大同工大の学生のみなさんが、この学習を通じて、エンジニアとしての確かな専門知識と技術に加えて、幅広い社会的知識と視野を身に付けて社会に羽ばたかれることを期待致します。



ロボティクス学科  
橋口 宏衛 講師

私はこれまで、様々なロボットコンテストに出場してきました。その経験から「トップダウン思考・ボトムアップ学習」の必要性を感じました。ロボットを作るとき、最初は「こんなロボットを作りたい!!」とい

うアイデアが生まれます。次はそのアイデアをどうして実現するか考え、必要な技術を抽出します。ハードウェアの機構、センサーやモーターを動かす電子回路、それを動かすプログラムが必要です。いきなり全てを統合したロボットは作れるはずがないので、まずは要素技術を1つ1つ学習しなければなりません。そして、2つの技術を1つにまとめ、更に別の技術と組み合わせると徐々に目的のロボットに近づけていきます。このように、まずは目的という頂点からスタートして必要な要素を分析し、次は下から折り返して技術をコツコツと積み上げていくのが「トップダウン思考・ボトムアップ学習」です。私の授業では「目的に対して何が必要で、何を学んだらよいのか」というノウハウを学生のみなさんに伝えていきたいと思っています。



建築学科 宇野 亨 助教授

建築の良し悪しは何で決まるのでしょうか。私の考える「良い建築」とは、生き生きとした活動に満ちた場所です。いくら格好がよくて立派でも、人のいない寂しい場所は「良い建築」とはいえません。具体的には、「何かをしたくなる場所」であること。大学も同じです。学習や研究

をしたくなる学校、毎日行きたくなる場所であることが大切です。

わくわくするコト・モノや、建築を通した多様な価値観との出会いは、学生たちの好奇心を刺激し、向上心を誘発します。私自身が、その触媒のような存在でありたいと考えています。

構造改革特区第1号で英語教育特区が認定された小中高一貫校「ぐんま国際アカデミー」や、ベトナムホーチミン市の「サイゴン開放新聞社」など、国内外の先進事例の設計活動を生かして、大同工業大学から、観察力・洞察力・考察力を秀でた、世界で活躍できる人材を育成していくことが目標です。

昨年春に開校した「ぐんま国際アカデミー」は、様々なメディアに掲載、放映され、「ぐんま都市景観大賞」、「ADWA最優秀賞」を受賞。



都市環境デザイン学科  
鷺見 哲也 助教授

本学では河川工学を中心とした教育に携わる。元来の専門は「水文学」。「すいもんがく」と読む。雨が陸に降ってから川や地下水を流れ下り、海に至って蒸発し、また降るまでの一連の水循環現象すべてを含んでいる。純粋な水循環過程について、「緑のダム」にも関連する山地雨水流出過程の解明、河川と地下水の水交換過程や湧水などの調査研究がある。環境学として

は河道内植物の生育環境や、栄養物質の循環過程(窒素浄化)などを扱う。一方、防災・減災の観点では、複合的治水システムの機能評価、堤防破壊過程からみた避難・水防活動の可能時間の評価、経済的水害リスクからみた流域内土地利用の最適化手法の開発などを行っている。水循環現象は社会と無縁でなく流域管理・水循環管理には多くの側面を持つことから、学生にとっても広い視野が養われる領域である。学生に負けぬようにと、時間を見つけては分野外の種々の資格取得にも挑戦する。2006年4月着任。



教養部化学教室 高山 努 助教授

東北大学大学院理学研究科化学専攻博士前期過程修了後、同大学院助手を経て、本年4月に就任。テクネチウムという天然に存在しない元素について、多数の新規化合物を合成し、その未知の性質を明らかにしている。また最近では、放射線を利用した機能性材料の合成法開発にも取り組んでいる。

「パソコンや自動車には化学的に作られた材料が必ず用いられていますし、人間の身体も化学反応の働きによって動いています。このように、化学は人間の生命・社会活動と密接に関係している学問です。講義や実験を通じて、化学の基礎知識を、わかり易く、そして卒業研究や将来就職したときに役立つように、伝えていきたいと思っています。もし大学生活や日常生活で、化学に関する疑問が出てきたら、どんなことでもいいので質問してください。難しい問題も一緒に考えれば、新しい知識の扉が開くはずですよ。」

担当は化学I、化学II、基礎工学実験など。

エクステンションセンター事務局 兼 広報室 堀木 俊宏 さん

大同工業大学 情報学部 情報学科を第1期生として卒業しました、堀木です。卒業研究は、鳥野研究室で「植物の生態電位計測」を研究していました。今年も引き続きその研究をやってみようですので、また研究室にお邪魔します!

今は、エクステンションセンター事務局兼広報室で、学生窓口およびホームページ管理を主に行っています。先日、窓口で学生から「V6のイノッチに似てる」「市役所っぽい」とかいろいろ言われました。でも、とっても楽しいです...!

何かわからないことがあったら気軽に聞ける先輩として、DIT卒業生であるという経験を生かし、学生と接していきたいと思っています。もし、「俺こんな賞取ったよ」や、「こんな凄い事してるんだよ」など、何かネタがあったらエクステンションセンターまで教えてください。



## A・Aオープン講座

講師：テレビタレント 鉄崎幹人 氏

4月17日(月)、ゴビーホールで自らを「アウトドアタレントで生涯野人」と呼ぶ、鉄崎幹人さんが「テレビタレントの生き方」と題して、情報学部1年生および学外の方、およそ160人に講演しました。

テレビ業界のウラ話や坂東英二さん等々のタレントオモシロ話から始まって、グッと学生を引き付けたかと思ったら、本人が一番伝えかかった「自然とともに生きる!!」話に移りました。

生き物クイズから始まり、身体を張って自ら潜水調査した堀川の生活廃水で汚れている現実、そして瀬戸内海の水質汚染で、スナメリが死んでしまっているリアルな映像等を紹介。

それは、生活排水や工業排水が大きな問題となっていることを、必死に本気で訴えました。

その鉄崎さんのメッセージは参加者へ確実に伝わりました。



### 参加者の感想より.....

- 「人間は昔から何でも自然に頼って生きてきたんだ。」ということを実感させられた。人間は地球上の生物で一番頂点にいて、他の魚や牛を殺しているのは当たり前だという意識があるが、逆に人間はそういった小さい生物に支えられているからこそ生きていけるのだと思う。
- 「人間は生きているのではなく生かされている。」そのことを忘れてはいけないと思った。鉄崎さんが言っていたように、「考えるのは地球規模、実行するのは足元から。」という考え方はとても大切だと思い、この言葉を忘れずに心に刻みたい。
- 一滴の水が集まって海になるように、この世の全てはどこかで連なっている気がした。様々な要素が複雑に絡まってできている自然も、人と人とのつながりも何もかも世界はつながっている。でも人間は全部を把握できるわけではない。だから目の前の水や人を大事にしていくことから始めるべきだと思う。

## 澤岡学長講演に東海ラジオ・パーソナリティー 小島一宏さんも参加!

5月8日(月)、新入生および学外の方を対象にして開催する「A・Aオープンセミナー」に東海ラジオ「小島一宏モーニングあいランド」でおなじみのパーソナリティー小島一宏さんが3年連続で参加されました。

以前、学長が東海ラジオに出演した際「宇宙オタク!?」の小島一宏さんと意気投合したことがきっかけとか。

今回は「どーなっている?スペースシャトル、次の飛行」と題して、全3講座・およそ400人に「2003年コロンビア号分解事故」「2005年ディスカバリー号による再飛行」等について講演されました。

小島一宏さんをはじめ、参加者は「ニッポンは日本の技術だけで日本人を宇宙に送ることができるのか?」等、この先10年の日本・宇宙開発の可能性について、特に興味津々。マスコミにはとても公開できない学長のリアルな話、講演終盤はディスカッション形式となって盛り上がりました。



### 参加者の感想より.....

- ロケット打ち上げ失敗の裏事情などを知り、驚きました。ロケット問題と環境問題は密接な関係にあり、私達も協力していき、夢の実現(日本の宇宙開発)を行っていきべきだと思った。この夢はただの夢だけの世界でないことを知った。
- 宇宙は未知の世界のイメージがあり、くわしくは知りませんでした。コロンビア号の事故があったり、ディスカバリー号を強引に打ち上げたり、人間が乗るのにそんなことでいいのかなと思いました。同じ過ちはしてほしくないです。ただ、宇宙開発はすごくお金がかかります。アフリカ等、生きるだけで精一杯の国も多々あるので、あまり宇宙開発にお金をかけてほしくないと思っています。

## 講師：ファナック株式会社 ロボット研究所 榎原伸介 氏



5月22日(月)、ゴビーホールで榎原さんが「ロボットの歴史・最新の知能ロボット技術・近未来への期待」と題して、ロボティクス学科の1年生および学外の方、およそ170人に講演しました。

「作業員(人間)は産業用知能ロボットと対話し、作業の流れを指示。細かい作業は知能ロボットが自立的に行う。」と産業用ロボットの将来展望を話され、また工場は「多くの産業用知能ロボットを自在に使いこなす有能な作業員の活躍が期待される」と将来のエンジニア像も話されました。

参加者は迫力有るロボットの映像にびっくりしつつも、自分の将来像(キャリアプラン)に照らし合わせていたようです。

### 参加者の感想より.....

- 産業用パートナーロボットは知っていたけど、介護用ロボットは初めて知った。全ての工場ではほぼロボット化されつつあるのに、今後の産業用ロボットにかかる費用があまり増加しないということにびっくりした。
- ロボットの技術が加速度的に速くなっています。しかしこのまま機械任せにし過ぎると、人から人への技術の継承がなくなってしまうのではないかと感じた。
- 今日の話聞いて、家に80歳を越えるおばあちゃんがいるから、医療や福祉用ロボットの進歩を期待しています。
- ロボットというのは、とても便利で低賃金だからすごく良いものだと思う。ただ、ロボットは何か一つ壊れたりするとどうしようもなくなりそうなので、やっぱり私(人間)もしっかりがんばらないと。

8コマ劇場

## DIT・元浜グラウンドにロバート登場!

4月11日(火)放送、メーテレ「ハラヨジレLIVE 爆笑惑星サバ〜イ!」のコーナー収録に、DITの硬式野球部(相手チーム役)、吹奏楽団(プラスチックバンド役)、ハンドボール部(応援団役)が協力しました。

吉本興業の人気タレント、ロバート・馬場ちゃんのサバ〜イ(気持ちいい)ことを叶えるコーナー。サバ〜イこととは、サヨナラヒットだ!



DITクラブ学生のノリの良さにロバートもビックリ!!めっちゃオモロイ撮影と放送になりました。

## 名古屋商工会議所・会員企業と連携促進

本学は名古屋商工会議所と連携し、会議所会員企業との産学連携を促進する活動をスタートしました。

会員である中小企業と接する機会を増やし、共同研究などにつなげるのが狙いです。その活動の第1弾として、4月25日(火)に本学A棟14階で交流会を開催しました。

およそ60人の会員企業メンバーが参加。自動車用固体高分子形燃料電池(FC)の実用化に向けて技術開発を行っている本学燃料電池研究センターを見学し、またFCの組み立て実習も行いました。

これを機に会員企業と交流を深め、細かな技術相談や共同研究に応じていきたい。そして更には技術相談会を年1回程度のペースで企画したいと考えています。

また、四日市商工会議所とも、今年度中に同様の交流会を開く予定です。



## 地域連携講座・金属工房「はじめての鍛金銀のスプーン・ワインカップを作る」を開催

5月20日(土)、27日(土)の2日間、本学創造製作センターで、講師に工房カオス主宰の鬼頭正信先生を迎え、金属工房「はじめての鍛金銀のスプーン・ワインカップを作る」を開催しました。

第7弾の今回は参加者15名。

大学祭の真っ只中に開催できたので、受講生のみなさまにはバザー券を配付し、休憩時間を利用して模擬店めぐりをしてもらいました。

ものづくりとDITをおもいっきり楽しんでいただいた企画となりました。



## 日本代表サッカー「侍ブルー」を同窓会も応援!

6月18日(日)、ワールドカップサッカー応援企画第一弾「日本VSクロアチア戦を200インチの特大大スクリーンで観戦しよう!」を同窓会主催で開催しました。

当日ゴビホールには、地域住民合わせておよそ50人集まり、日本チームがピンチになると「うぎゃっ」や、チャンスになると「いけ〜!」などの声援が飛び交いました。

試合結果は0-0の同点で残念な結果に終わりましたが、大人数で観戦すると楽しいという声があちこちから聞こえてきました。

このような地域・学生・同窓会が一丸となれる企画を増やして、学生たちを元気にしていけたらいいですね。(同窓会)



## 宇宙少年団(名古屋支部)主催「作って・遊んで・おもしろ実験」

6月17日(土)、A棟14階交流室で、現在高校教諭の本学OB児島さん(79M)を講師に招き、親子で「作って・遊んで・おもしろ実験」を開催しました。

Part1は「レインボーぶんぶんごま」で遊ぼう。

Part2は「あるないカード」で遊ぼう。

いずれも、楽しく遊びながら、実はぶんぶんごまから「色の秘密」を、またあるないカードから「コンピュータの暗号」を探り、読解するヒントを学ぶことができていたこの実験に、参加者は児島先生にあのでんじろう先生をダブらせていたようでした。

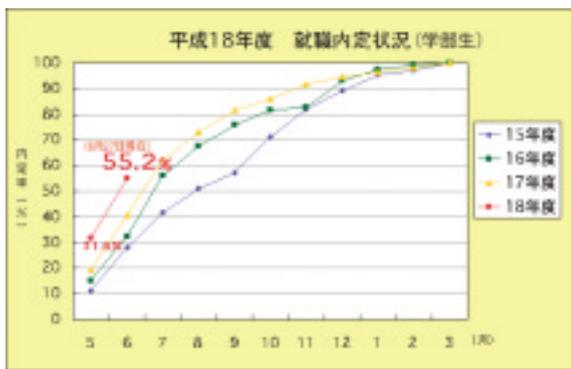
そんな笑顔と発見の絶えないひとときでした。



## 内定状況

昨年度より1ヶ月ほど早く、ゴールデンウィーク前に内定者数が1割を越え、予想以上の好スタートを切ったと思われます。求人数も前年度の1.5倍に増加し、工学部ばかりでなく、今春第一期生を送り出した情報学部も市場の好景気を反映しています。

まだまだ活動中の学生は多く、より早い時期に学生のニーズに合った企業から内定を得ることができるよう支援していきます。



大学院生においては、既に80.0%内定。

### まだ就職活動をしていない学生のご父母の皆様へ!

企業就職希望の学生に対して、キャリアセンターはとことんつきあいます。キャリアセンターをぜひ活用するようにお伝えください!

## 学内企業説明会

5月10日～12日、6月28日～30日の計6日間、図書館大会議室において2月の企業説明会に参加することのできなかった企業を中心に計168社が日替わりで参加して企業説明会が開催されました。参加企業の採用担当者からは「是非大同工大の学生を採用したい」との熱気が伝わり、冷房を効かせてあるにもかかわらず、リクルートスーツを着た学生達は汗だくになりながらも熱心に担当者の話に耳を傾けたり質問をしていました。少しでも多くの企業のことを学生に知ってもらいたい機会になったと思います。

## 就職ガイダンス

毎年3年次生対象に就職ガイダンスを4月から翌年2月にかけて毎月開催しています。企業の採用早期化に合わせ、昨年度より2年次の12月にもプレ就職ガイダンスとして就職活動のココロとアタマの準備を始めました。就職活動に対する心構えから始まり、業界研究、就職活動の方法、OBを囲んでのディスカッションや企業講師によるセミナーなど盛りだくさんの内容となっています。ガイダンスに出席すれば、就職活動は間違いなく成功するでしょう!



### 特集 学歴と給料

『「お買い得」理系大学はどこか』に

本学が全国の3位にランクイン!

大学を卒業するといつてもいくらか稼ぐことができるのだろうか。

卒業後の大学別の平均年収から「稼ぐ力」を明らかにしたランキングです。



# やるじゃん トピックス!!

## NHKとDIT学生による 「ふれあいミーティング」

4月13日(木)、A棟14階の交流室でNHK名古屋放送局の部長をはじめとする職員3名と情報学部の学生12名で「NHKのイメージ・受信料・よくみる番組・要望」等について、ディスカッションしました。

この「ふれあいミーティング」は、名古屋放送局が県内各地で視聴者の声を聞き、放送・事業に生かすことを目的に開催されています。

当初30分の予定であったが、時間を延長して80分間、熱く意見交換しました。

学生からは「まっすぐ、真剣」なNHKらしさはそのままに、もっと若者に伝わる番組を考え、制作してほしい。歌・お笑い・スポーツ番組等々。

それら学生からの意見・要望・質問に、NHK職員の方々は、真剣に対応してくれ、最後には「皆さまからいただいた意見に対し謙虚に耳を傾け、放送・事業に生かしていきます。」と話されました。



## NHKの技術を DITキャンパスで 見て・聞いて・触れた!!

4月13日(木)、B棟階段前広場で、NHKの中継車およびケータイで地上デジタル放送が見られるワンセグが公開されました。

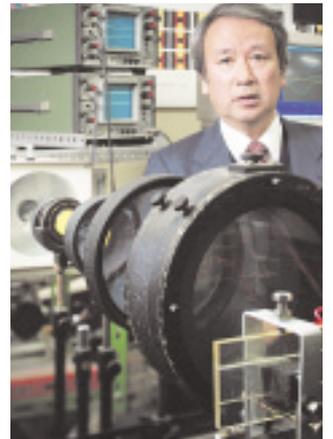
NHKのプロエンジニアから実際にマイクやカメラ(600万円!)を持たせてもらい、レポーター&カメラマン体験ができた。中継車内のスイッチャーを操作してプロデューサー気分を味わったり...

学生は初めての経験に目をキラキラと輝かせていました。



## キャリアセンター長 杉浦教授 「豊田市人材開発フォーラム定例会」で講演

4月17日(月)、豊田商工会議所で「豊田市人材開発フォーラム定例会」が開催されました。講師は杉浦先生。トヨタ自動車関連企業およそ30社に対して、技術者不足が深刻化する現在、「産学連携に関する現状(共同研究開発等の実例)」「就職支援」「人材育成の取り組み」の3つを重点テーマと設定し、本学の取り組みを紹介しました。



## 保田くん(04MM)五島くん(MM06)の 投稿記事が中日新聞に掲載されました!

投稿記事は『僕らの苦闘は、卒業研究のテーマを「森林の香りが運転に与える影響」に設定したときから始まった。』から始まり、『学生生活で最もいろんなことが経験できた年で、人間としても成長できたように感じている。』とまとめている。うーん、読んでてうれしくなっちゃう、ナントも泣かせる学生の投稿記事だ。

その内容は...



2006.4.18

## 情報学科メディアデザイン専攻 岩木呂講師が監督・脚本を務めたDVDが 今、関東地区で売れてますっ!

4月15日(土)にTBS系列放送の「王様のブランチ」でオススメDVDとして、「虫が演じるシェイクスピア ロミオとジュリエット」がピックアップされました。

ロミオ役をコーカサスオオカブトが、またジュリエット役はオウゴンオニクワガタ。CG一切なしの総勢およそ50種類の虫たちが送る昆虫マイクロエンターテインメント作品です。



## Jessy Olsonさんの「Farewell Party」

5月12日(金)A棟14階ラウンジで、およそ1時間の報告会を終え、ホッとされた表情のJessyさんを囲んでFarewell Partyが始まりました。

みんなが会食を楽しみながら、なにやら影でゴソゴソしている人が...、体育教室の水野先生(オレゴン大好き)だ。参加者みんなのメッセージ入りDITパンダナを、オレゴンダックに着せてプレゼント!そのサプライズにJessyさん大喜び。そしてまたその姿に参加メンバーもうれしくなり、最後はみんなで記念撮影、はいポーズ!!

手作りでやさしい、「Farewell Party」となりました。



## 建築学科 福祉環境専攻 光田助教授『光触媒環境産業展 フォトクリンフェア2006』に出展

5月19日(金)から21日(日)、ポートメッセ名古屋で『光触媒環境産業展 フォトクリンフェア2006』が開催されました。生活環境の改善と、健康・福祉に役立つ光触媒等の環境浄化技術、その素材や応用製品を紹介し、関連技術の普及、またその安全で適正な商品化を図り、78の企業・団体が出展。光触媒技術を活かした製品、サービス、および公設研究機関、大学の研究シーズなどが紹介されました。

本学からも光田研究室が参加。ポスター展示、嗅覚テスト、光触媒付蛍光灯デモ、においに対するアンケート調査を行いました。福祉・病院関係の方をはじめ、光触媒関係メーカーの方々が訪れ、「病院のにおい対策に光触媒付蛍光灯を設置したらどうなるのか?」など多くの質問が出されました。



実験器具をプレゼンしている棚村くん(MA06)

## 都市環境デザイン学科 大東教授 建通新聞「土壌汚染対策特集」に登場

4月26日(金)、愛知土壌・地下水汚染対策研究会の会長を務める大東先生に、建通新聞社が以下の4点についてインタビュー取材。

1. 愛知土壌・地下水汚染対策研究会の役割と成果  
土壌取引の活性化への影響は
2. 土壌汚染対策の技術の進展は
3. リスクコミュニケーションについて
4. 今後の課題について

その模様は、5月25日(木)に掲載されました。



## 建築学科・福祉環境専攻 宮元教授「被災福祉開発プロジェクトのプレゼンテーション」を行いました。

5月26日(金)、F棟1階製図室で、豊明を中心とする中小企業34社の団体(エントロピ豊明)を招き、「被災福祉開発プロジェクトのプレゼンテーション」を行いました。

5つの防災に関する試作品を提案し、実際に手にとりながら、ディスカッションした結果、参加者達は楽しそうに、笑顔で「大学と遊んでみよう!」と共同研究に前向きな姿勢、新商品の開発を共に目指したいと興味津々でした。



## ロボティクス学科 浅井講師 尾張旭市長寿学園で講演

5月30日(火)、尾張旭市中央公民館で浅井先生が「新しい語がどのように生まれるか」と題して、日本語の語彙の変遷について講演を行いました。本学と愛知県尾張旭市教育委員会とのコラボレーションは2年目。昨年の情報学科メディアデザイン専攻・川戸教授の講演「メデ

アの裏を読む」が大好評であったため、今回のオファーに至り、およそ90人の参加者がありました。



## 機械工学科・機械工学専攻 鈴木助教授 「交通警察官に安全運転教育の重要性を力説！」

鈴木助教授は、5月30日(火)・6月6日(火)の両日、愛知県警察学校(春日井市)で「ハンズフリー装置の使用がドライバーの運転特性に与える影響」を演題に、形態別での交通事故の発生状況、安全運転教育の課題、事故防止システムの開発状況など、ハンズフリー装置にかかわらず、事故予防の方策について幅広い内容で講演を行われました。先生は、46名の各警察署で交通安全教育を担当する交通警察官に、欧州と日本国内での交通安全教育を比較され、国内でも運転免許を取得する以前の幼少期から家族ぐるみで楽しく交通のモラルを身につける必要があることを強調されました。先生は、最後に、事故予防は、ハイテク技術を用いた事故防止装置の開発に注目しがちだが、地道な安全教育も重要であり、大学の一研究者として安全教育の改善に全面的に協力したいと力説されました。



## 都市環境デザイン学科 大東教授 「土壌浄化技術セミナー」で講演



6月13日(火)、豊田商工会議所主催の「土壌浄化技術セミナー」で大東先生が講師を務め、土壌・地下水の汚染対策技術について講演しました。

土壌汚染対策は、企業の社会的リスクを回避する意味においても、重要事項となるため、およそ50人の豊田市および周辺の企業や自治体(トヨタ自動車関連企業)の関係者が参加しました。

## 第41回 同窓会総会開催

5月27日(土)、大学祭期間中に「第41回同窓会総会」がゴビホールで開催されました。宮本同窓会長の挨拶の後、各担当者から会計報告、諸活動について報告が行われました。審議事項はすべて無事可決されました。その後、懇親会が理事長、学長および先生方のご出席の中、A棟14階で行われました。南は四国、北は関東と懐かしい顔ぶれが集まり大学のキャンパスや、新しくできた自習室、新設学科・専攻など進化し続けている母校の話題で話が弾んでいました。

今後も未来の同窓生に本学を卒業してよかったと思える同窓会活動を続けてまいります。(同窓会)



## 後援会からのお知らせ

5月28日、『第43回定期総会』が開催されました。昨年同様、大学祭期間中の開催となり、多くのご父母の方々に参加していただきました。

総会では、平成18年度の活動方針などが審議され、『教育懇談会』の開催日程が決定されました。『教育懇談会』とは、後援会で特に力を入れている活動で、保護者の方々に本学の現状をご説明し、指導教員の先生方と面談していただく機会を設けた会です。開催日程は次のとおりです。お近くの会場にぜひご参加ください。(後援会)

平成18年度 教育懇談会開催日程

開催日	開催地	会場
9月23日(土)祝	三重(松阪)	フレックスホテル
9月24日(日)	三河(豊橋)	ホテルアソシア豊橋
	近畿(長浜)	北ピコホテルグライツエ
	長野(松本)	ホテルブエナビスタ
9月30日(土)	尾張(名古屋)	ホテルグランコート名古屋
10月7日(土)	北陸(金沢)	金沢都ホテル
	西日本(岡山)	ホテルサンルート岡山
10月8日(日)	岐阜(岐阜)	グランパレホテル
	静岡(浜松)	浜松名鉄ホテル

## 社団法人 日本工学教育協会認定 教育士(工学・技術)資格制度 「上級教育士(工学・技術)」に 情報学部 田中教授が認定 (平成18年5月12日)されました。



この資格は田中先生の教育業績評価と去る3月に特別教育士の称号を受けた澤岡学長の推薦によって認定されたものです。

協会は工学分野における人材育成専門家集団として、工学教育・技術者教育の質向上のために、教育士(工学・技術)資格制度を新たに設置しました。

「学者から教育者へ」「研究面での博士号と同様に教育面での能力を表す資格として」協会は期待しています。

田中先生は協会より、「教育の経験だけでなく、教育法の工夫、学生の評価、学生の能力向上の実績」など多角的に評価されたのです。

教育士は、特別・上級・中級・初級の4段階あります。

また、教育士であり続ける条件は、教育者としての倫理観をもち、コミュニケーション能力に優れ、教育心理を理解するものであり、かつ以下の能力のいずれか、又はすべてを有するもの。

・専門分野での十分な知識を持ち、人材育成、教育に情熱を持つもの。

・優れた教育方法を身につけ、実践し、受講生の能力を引き出せるもの。

・常に自ら能力開発を心がけ、専門分野に加え幅広い教養を身につけているもの。

・教育マネジメント能力を有し、教育改革を企画し具現化できるもの。

とあるように、他の資格と異なるところは5年の有効期限があること。5年毎に更新審査を受けなければ、資格喪失となるのです。よって5年間で所定の継続教育ポイントを着実に溜める努力が求められ続ける資格なのです。



## 環境デーなごや2006に DITも協力参加!

6月3日(土)、環境デーなごや2006「市民・事業者エコキャンペーン」が開催されました。

これは、環境問題をともに考え、理解と関心を深め、市民・事業者・行政の協働のもと、よりよい環境づくりに向けて具体的行動を実践する契機にしたいと考える行事です。



本学はそのイベントの一つ「クリーンキャンペーン」に今年も参加し、大学周辺地域の清掃を行いました。学生・教職員およそ40人が参加し、一丸となって一生懸命活動しました。

## 第11回 クラブ対抗ボウリング大会

6月10日(土)、ロイヤルボウル名古屋で、本学クラブ委員会主催の「第11回クラブ対抗ボウリング大会」が開催されました。

参加クラブは14クラブ、参加チーム数は36チーム(1チーム:3人)の総勢108人。

各クラブ間の交流・教職員との連携をさらに深めることを目的として、今回で11年目となりました。

大会当日は、服部学生部長の爽快な挨拶と豪快な始球式でスタート!優勝を狙っているチーム、クラブ内の親交をさらに深めようとするチームなど様々なチームスタイルで、普段の彼ら、彼女らとはまた違った一面ものぞかせていました。ストライクやスピアの後でのハイタッチや歓声、ガターやミスへの笑い声や叱咤激励??などなど、終始明るい雰囲気のまま大会は進行していき



ました。レーンが隣になったチームとも自然に会話が生まれているシーンなどから、この大会の成功を確信するとともに、学生の活気にあふれた、「元氣さ」を改めて実感できた大会となりました。

(学生室)

## 編集後記

学生行事で最も盛り上がる「宴祭(大学祭)」があつという間に終わっちゃいました。私にとっては「卒業生と再会する場」として、とても重要なイベントです。

今年の収穫は、

- ・3月に女の子が産まれました。(白石)
- ・6月から地元の愛媛を離れ、愛知で働きます。(白戸)
- ・10月に東京で結婚します。(吉田)
- ・11月にふたり目の女の子が産まれます。(山本)etc...

私は「楽しくて、懐かしくて、うれしい。」DITの宴祭が大好きです!

みなさんも一緒にDITで遊びましょう!

この「DAIDO CAMPUS 57号」から、卒業生のみなさんにもお届けができるようになりました!どうか、ご意見・ご要望等お寄せください。またキャンパスにもぜひ、いらしてください。教職員一同、お待ちしております!

大同工大キャンパス 編集長 伊藤雅士



## DIT Presents! 試写会「カーズ」は大にぎわい!!

6月19日(月)、愛知県勤労会館で、大同工業大学・特別試写会を開催しました。試写映画はディズニー/ピクサー最新作「カーズ」!!

会場は満員御礼、1448人の方に来場していただきました。

試写会終了後は、DITサプライズ企画、「アンケートに🐣がいたらプレゼント!」を行い、カーズオリジナルネックストラップを200人の方にプレゼントしました。



## Cafe@dit

今回より、卒業生・在学生・教職員等々の「和」を広げるため、みんなの拠り所「Cafe@dit」をオープンします。「映画・ビデオ・小説・マンガ・レジャー……の感想」何でも構いません。リレー方式でシリーズ化を目指します!



第1弾は……

### ディズニー/ピクサー映画、「カーズ」の試写会で

エクステンションセンター兼広報室 堀木 俊宏

7月1日(土)よりロードショーのディズニー/ピクサー映画「カーズ」の試写会を見に行きました。この映画を見た率直な感想は、「いい話だなー」です。いつもあくせく動き回っている日常を見直して、一度立ち止まってみようという気持ちになります。何か大切なものを思い起こしてくれそうな映画です。見所はCGを使った風景。こんな場所に行ってみたいと思うほど映像のクオリティーの高さに驚かされました。情報学部の学生はCGの技術を見るのにもいいかもしれませんね。

さて次回のCafe@ditは、かなり独特の雰囲気を持っており、また時折、裸足で事務所内を歩き回っている「人事部・後藤さん」を私から指名いたします!



## 人事

法人本部・大学

事務職員

(部長)

大脇 通保(大学事務部 キャリアセンター事務室長)

法人本部 総務部長 兼経営企画本部副本部長を命ずる(H18.7.1)

(室長)

鹿島 孝之(法人本部 総務部人事室長 兼経営企画本部主任部員)

大学事務部 キャリアセンター事務室長を命ずる(H18.7.1)

水野 伸哉(大学事務部 学務室長 兼経営企画本部 企画室長)

法人本部 総務部 人事室長 兼経営企画本部主任部員を命ずる(H18.7.1)

天池 公一(法人本部 総務部主任部員)

大学事務部 学務室長 兼経営企画本部企画室長を命ずる(H18.7.1)